

13037 音楽Ⅱ a、b、c、d、e Music II			2 年次～ 通年 2 単位
担当者	佐藤 希久雄／佐藤 厚子	履修可能学科	E Pe C W F
		関 連 資 格	教職(P e)
サブタイトル	ピアノ演奏と伴奏法		
授業内容 ・ ねらい	年間を通して、ML（ミュージック・ラボラトリー）を使って授業を行う。ピアノの演奏の一般的な技術だけでなく、小学校音楽科の授業の展開に欠かせない、歌唱曲の伴奏についても学習する。 また楽曲の理解と、即興的な伴奏付けを行えるようになるために、次のような事項を学習する。 ・コードネーム ・機能和声 ・簡単な楽式		
授業計画	前期 ①ガイダンス ②英語音名のシステムについて ③音程の理解 ④コードネームのシステムについて ⑤メジャー・コード ⑥セブンス・コード ⑦和音の機能について（１）主和音と属和音 ⑧和音の機能について（２）V7と下属和音 ⑨調性の理解 ⑩和声分析（ハ長調） ⑪和声分析（ト長調） ⑫和声分析（ヘ長調） ⑬楽曲練習（１） ⑭楽曲練習（２） ⑮楽曲練習（３） 後期 ①前期内容の確認とガイダンス ②マイナー・コード ③副三和音 ④短調について ⑤和声分析（イ短調） ⑥和声分析（ホ短調） ⑦和声分析（ニ短調） ⑧楽曲練習（１） ⑨楽曲練習（２） ⑩楽曲練習（３） ⑪即興による伴奏付け（１） ⑫即興による伴奏付け（２） ⑬伴奏付けと弾き歌い ⑭理論のまとめ ⑮演奏法のまとめと発表		
教科書 参考書	教）『新 やさしいピアノ伴奏法 1』（ドレミ楽譜出版社） 教）『教員養成課程 小学校音楽科教育法』（教育芸術社）		
評価方法	前期・後期ともにピアノ実技およびペーパーテスト、また後期には弾き歌いの試験も行う。		
事前準備学習 履修条件等	受講者は自宅もしくは学内のピアノ練習室にて十分な自習が必要になる。 受講者は原則として音楽Ⅰを履修済みの者とする。 クラス担当 a：佐藤希久雄 b、c、d、e：佐藤厚子		